多やうひをしく時鳥をもとめ
ふ語りもうへ行るたるを風ま
ようを考物やを為ハうハま
古語よりを鷹を浦島と云やをもべし又雉肉とハをる孔
ひ骨と肉とのるを在肉をを味をを鷹を肉
食ををるを雉肉ハ肉を強もるのをく用る肉をつのかく
へる為メやさく此彩を唯たを鷹をを味ある餌哉
ふをとのをいひをくハ鯉を彩人の趣向を不知彩の味もな
かの卵をいとんとをを彩ひをくをれを彩を考るこををを

萬葉集九巻を浦島を詠る長歌を上略水江之浦島兒之
堅魚釣鯛釣矜及七日家尓毛不来而下略七の網を此長